毎日新聞　第三種郵便物認可

静電気から髪守れ めっき技術 一役

駒ヶ根の塚田理研工業

表面を処理したくし「ラブクロム」 SNSで評判 返礼品にも

滑らかな使い心地で人気の「ラブクロム」のくし

めっき加工の塚田理研工業（駒ケ根市）が、自社のめっき技術を生かして製造するくし「LOVE CHROME（ラブクロム）」の販売が好調だ。プラスチックの表面のめっき処理により、髪をとかす際も静電気が起きにくく、使い心地が滑らかーと芸能人や美容師らプロの間で評判に。駒ケ根市のふるさと納税の返礼品にも採用され、人気を集めている。

同社は自動車部品のめっき加工が主力。技術を生かして独自製品を開発しようと、くしに着目した。下島聡社長の義妹が営む美容商品製造販売のワイシー・プライマリー（東京）に試作品を提供したところ使い心地が好評で、同社のブランドと販売網を生かして2011年に発売した。

塚田理研工業がプラスチックで成形し、表面を銅、ニッケルなどの金属で覆うことにより、静電気が起きにくくなる。摩擦も少なくなるため、くし通りも良くなるという。

11年の販売数は月平均261本。その後、タレントの田中みな実さんら有名人が紹介するなどSNS（交流サイト）で評判が広がった。23年は売り上げが急増し、月平均3万1853本を販売。全社売上高の5％程度を占めるまで成長した。

形状や金属により29種類あり、価格は税込み3960～1万6280円。駒ケ根市のふるさと納税の返礼品に採用されて以降、返礼品サイトのランキングで上位の常連だ。下島社長は「めっきに思いがけない付加価値があることが分かった。この機能を生かした商品を少しずつ増やしていきたい」と話している。

浅井秀水さん 美人画だけじゃない

飯田 能を舞う女性など14点展示

飯田市出身の日本画家、浅井秀水（しゅうすい）（本名・幸子（さちこ））さん（1919～2014年）の作品を収蔵する秀水美人画美術館（飯田市）は、能を舞う女性や観音像などを描いた14点を展示した常設展を2月末まで開いている。秀水さんは美人画で知られるが、あえて異なるテーマで描いた作品を紹介し、印象の違いを感じ取ってもらう趣向だ。

能を描いた作品は8点。1988（昭和63）年にフランスの絵画展で優秀賞を受けた50号の作品「能 巴（ともえ）」は、巴御前とみられる女性の背後に、よろいかぶと姿の男性が亡霊のように寄り添う構図。同館で案内を担当する浜田里美さん(60)は「華やかな美人画に比べて暗めのトーンで、情念の世界を描いている」と説明する。

面を付けて能を舞う姿を描いた浅井秀水さんの作品

同館は秀水さんの作品を00点を収蔵。作品はおよそ0るという。浜田でも若い世代は

中身はなあに？ 恒例「本の福袋」

松本市立図書館

のし紙の文章をヒントにして選ぶ「本の福袋」

松本市の市立図書館11館で4日、本の表紙が見えないように包装して貸し出す「本の福袋」が始まった。職員がお

鷹めの本を選び出した一文や内容のし紙に書いては内容を想像ら本を選んで

普段は読まお手に取っても12年目。「すべたためにある」！人生に幸せ容が気になる本が並ぶ。一般

岡谷工高白星 大声援後押し

春高バレー

4日に開幕した男子バレーボールの全日本高校選手権（春高バレー）で、岡谷工業高校バレー部OBら約40京体育館（東選手に大きな4強入りした の春高バレーると、スタン た。

同寺こ4式